

祭りの世界 — 風流と仮装 —

〈Thematic Exhibition〉The World of *Matsuri*: Disguise and Masquerade

令和4年(2022) 7月24日(日) ~ 9月11日(日)

主催: 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

祭りは「祀る」と語源を同じくし、祈りや供物を捧げる宗教的行事が本義ですが、次第にその華やかさや賑やかさが強調され、人々の眼を楽しませる娯楽ともなりました。祭りといえば、多くの人々が集う、賑やかで楽しげな祝祭が目され、「お祭り騒ぎ」という言葉も生まれました。なかでも「祭礼図」として描かれた祭りは、風流(ふりゅう)と呼ばれる飾りや造り物、人々の仮装に趣向が凝らされ、見た目にも美しく、それ自体が強い祝儀性を帯びています。

本展では、こうした祭礼の風流のなかでも、人々の仮装に注目して、江戸時代の祭礼図を中心に、その豊潤な世界を紹介します。

[凡例]・指定欄の「◎」は重要文化財を示します。
 ・都合により出品作品が変更となる場合がございます。
 ・展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
 ・所蔵者: *は名古屋市博物館、**は名古屋市蓬左文庫、無印は徳川美術館を示します。
 ・A期間: 7月24日(日)~8月23日(火) B期間: 8月24日(水)~9月11日(日)
 ・「巻替」「頁替」は半期で展示する場面、ページが替わります。

No.	指定 作品名	作者・所有者等	時代	世紀	所蔵者 期間
1、祭りのにぎわい 華麗なる風流					
1	続日本後紀 五冊の内 天長十年(八三三)十一月戊辰条	藤原良房等編	江戸	寛文8年<1668>	**
2	本朝世紀 二十二冊の内	藤原通憲著	江戸	18世紀	**
3	洛陽田楽記	大江匡房著	江戸	19世紀	**
4	年中行事絵巻(模本)	幸野樸嶺旧蔵	江戸	19世紀	個人
5	年中行事絵巻(模本)		大正	20世紀	個人
6	尺素往来	一条兼良著	江戸	18世紀	**
7	古圖抄出	幸野樸嶺旧蔵	江戸	19世紀	個人
8	◎ 豊国祭礼図屏風 六曲一双	岩佐又兵衛筆 蜂須賀家伝来	江戸	17世紀	A
9	豊国祭礼図屏風(豊国祭礼・祇園遊楽図屏風のうち) 六曲一双の内 右隻		江戸	17世紀	* A
10	津島社祭礼図屏風 六曲一双の内 左隻	津島伴家伝来 岡谷家寄贈	江戸	18世紀	B
11	名古屋東照宮祭礼図屏風 六曲一双		江戸	17世紀	個人 B
12	石清水八幡臨時祭礼図巻 三巻	原在明筆 俊恭院福君(尾張家11代斉温継室)進上・齊朝(尾張家10代)所用	江戸	天保7年 <1836>頃	上巻 A 中巻 A 下巻 B
2、家康を祀る 東照宮祭礼					
13	日光東照宮祭礼図巻		江戸	19世紀	
14	日光東照宮祭礼図巻		江戸	19世紀	
15	紀州東照宮祭礼図巻 二巻の内		江戸	18世紀	
16	紀州東照宮祭礼図巻 二巻の内		江戸	19世紀	
17	名古屋東照宮祭礼図 「張州雑誌」巻二十一 百冊の内 内藤東甫著		江戸	18世紀	**
18	名古屋東照宮祭礼図巻 四巻の内 第二巻		江戸	18-19世紀	
19	名古屋東照宮祭礼図巻 九巻の内 総巻・四巻	森高雅筆	江戸	文政5年<1822>	巻替
20	名古屋東照宮祭礼図巻	鬼頭道恭筆	江戸-明治	19世紀	
21	御祭礼諸入用勘定帳		江戸	天保11年<1840>	**
22	土人形 東照宮祭山車	野田末吉作	昭和	20	*
3、尾張名古屋の祭り					
23	名古屋天王祭礼図巻		江戸	18-19世紀	
24	名古屋若宮祭礼図巻		江戸	18-19世紀	
25	名古屋梵天祭礼図巻 三巻の内		江戸	18-19世紀	
26	御鍬祭真景図略 三冊の内 第二冊	小田切春江転写	江戸	文政10-11年 <1827-28>	* 頁替
27	熱田祭奠年中行事図会 十冊の内		江戸	19世紀	**
28	尾張年中行事絵抄 秋之部(写本)	原本: 高力種信(猿猴庵)著	江戸	19世紀	**
4、江戸の天下祭					
29	山王祭礼図巻 三巻の内	建中寺徳川慶藏墓所出土品 徳川慶藏(尾張家13代)所用	江戸	弘化3年<1846>	
30	千代田之御表 山王祭禮上覧	楊洲周延画	明治	明治30年<1897>	
31	神田明神祭礼図巻 二巻の内	建中寺徳川慶藏墓所出土品 徳川慶藏(尾張家13代)所用	江戸	弘化4年<1847>	
32	江戸根津大権現御祭礼之番付	松尾春升画	江戸	19世紀	